

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子どもたちの「生きる力」育成事業
事業主体 (連絡先)	そらいろのたね
事業区分	教育・文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,609,997円 (うち支援金: 1,180,000円)

### 事業内容

以下の事業を実施した。

#### 事業1 思春期支援

- ・一般向け講演会、思春期支え手カフェの開催
- ・人材育成 中学生向け性教育講話講師養成

#### 事業2

- ・感情教育プログラム(親子向け気もちのワークショップ開催および感情教育プログラム講師養成)
- ・レジリエンス教育プログラム(レジリエンス: 逆境に負けない力) 親子向けワークショップ開催

#### 事業3

- ・子どものコミュニケーションカトレーニングプログラム「ことばキャンプ」インストラクター養成



【ことばキャンプ講師養成講座の様子】

### 事業効果

事業1) 講演会等の実施によりニーズに応えられた。性教育講話を担う人材を育成できた。

事業2) 親子講座の開催により、自分の感情との向き合い方や非暴力による問題解決法を親子で学ぶ機会を提供できた。『気持ちのワークショップ』講師を養成し、継続的に県内の子どもたちに同講座を提供できる体制ができた。

事業3) 元気づくり支援金2年目事業により提供開始した小学校低学年向けことばキャンプに加え、未就学児向けを継続して県内で提供する体制ができた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

3年間の支援金活用事業によって育成した人材を活用し、継続的に長野県内の子どもたちに学びの機会を提供していく。

### 【目標・ねらい】

子どもの自己肯定感・生きる力の育成のための講座の開催と、支援金終了後の講座を提供可能にする人材育成

### ※自己評価【 B 】

【理由】  
予定した事業を実施できた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある